

平成 24 年度

請負工事成績評定の受注者自己評価の結果について

1 受注者自己評価の目的

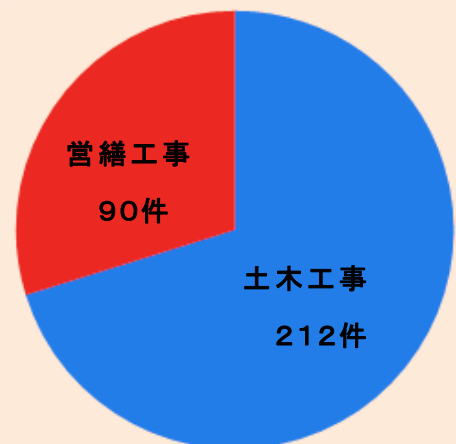
受注者が自ら施工した工事に対して、成績評定による評価を実施することで、成績評定の理解向上が図られ、成績向上のための取組が共通仕様書や契約図書に基づく施工プロセスの確実な実施に繋がり、その結果、公共工事のより一層の品質確保が図られることを目的として実施しています。

2 自己評価対象工事

- 工種の土木・建築・電気・機械
- 設計金額 500 万円以上
- 6 月以降に着手する工事
- 年度内にしゅん功する工事



上記要件から **302 件** を選定



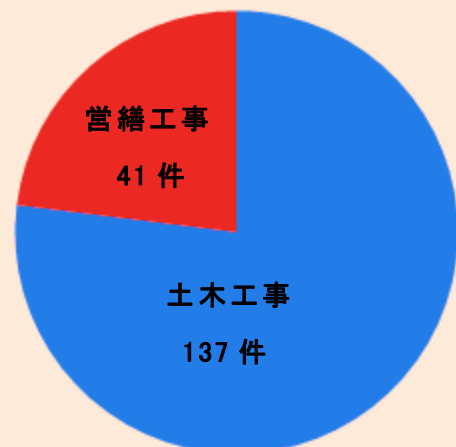
3 自己評価実施工事数

対象工事 302 件のうち受注者の協力が得られた **178 件** で実施。

全体実施率：59% (178/302 件)

土木工事：65% (137/212 件)

営繕工事：46% (41/90 件)



4 自己評価評定項目

受注者による自己評価の評定項目は、下記の「請負工事成績採点表」のうちⒶとⒷが対象です。

Ⓐ・・・工事主任の考査項目の9項目の全てが対象

Ⓑ・・・工事主任の上司の考査項目の4項目のうち2項目が対象

様式1号(共通)

請 負 工 事 成 績 採 点 表

工事番号		() 第 号	工 種	工事内容		契約金額(最終)		契約工期		平成	年	月	日						
工 事 名																			
請 負 者 名																			
考 査 項 目	細 別	工 事 主 任					工 事 主 任 の 上 司					検 査 員 ()							
		氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名					
考査項目	細 別	a	b	c	d	e	a'	b'	c'	d'	e'	a	a'	b	b'	c	d	e	a
1. 施工体制	I. 施工体制一般	+1.0	+0.5	0	-5.0	-1.0													
	II. 配置技術者	+3.0	+1.5	0	-5.0	-1.0													
2. 施工状況	I. 施工管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-1.0						+5.0	+2.5	0	-7.5	-1.5			+5.0
	II. 工程管理	+4.0	+2.0	0	-5.0	-1.0	+2.0	+1.0	0	-7.5	-1.5								
	III. 安全対策	+5.0	+2.5	0	-5.0	-1.0	+3.0	+1.5	0	-7.5	-1.5								
	IV. 対外関係	+2.0	+1.0	0	-2.5	-5.0													
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	+4.0	+2.0	0	-2.5	-5.0						+1.0	+7.5	+5.0	+2.5	0	-1.0	-2.0	+1.0
	II. 品質	+5.0	+2.5	0	-2.5	-5.0						+1.5	+1.2	+7.5	+4.0	0	-12.5	-2.5	+1.0
	III. 出来ばえ											+5.0	+2.5	0	-5.0			+5.0	
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応						+ (20.0)												
5. 創意工夫	I. 創意工夫	※3 (7.0)					Ⓑ												
6. 社会性等	I. 地域への貢献等						+10.0 +7.5 +5.0 +2.5 0												
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		± ③ 点					± ④ 点					± ⑤ 点							
評定点(65点±加減点合計)		① 点					② 点					③ 点							
評 定 点 計		○部分(臨時)検査があった場合：(①) 点 × 0.4 + (②) 点 × 0.2 + (③) 点 ※但し、③(部分、臨時検査等)が2回以上の場合は平均値 ○部分(臨時)検査がなかった場合：(①) 点 × 0.4 + (②) 点 × 0.2 + (④) 点																	

※この採点表は、本市の工事主任、工事主任の上司(係長)、検査員の3名が評定し、その評定割合は下記のとおりです。

総合評定点 = ③工事主任の40% + ④工事主任の上司20% + ⑤検査員40%

5 自己評価の結果

(1) 受注者の現場代理人と本市の工事主任との評定点③の比較

	現場代理人	工事主任	評定点差
土木工事	79.2点	76.1点	+3.1点
営繕工事	78.7点	77.5点	+1.2点

総合評定点に換算すると+1.2点

総合評定点に換算すると+0.5点

○土木工事、営繕工事ともに受注者の現場代理人の評定点が若干高い数値となっている。

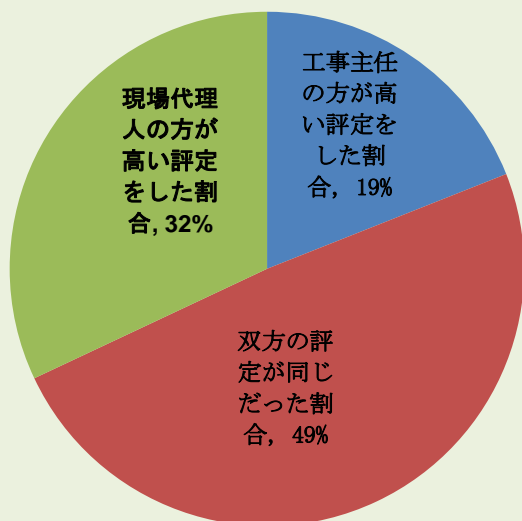
(2) 工事主任の審査項目①との比較について

ア 土木工事の約49%、営繕工事の約43%の工事では、現場代理人と工事主任の双方が同じ評定をしている。

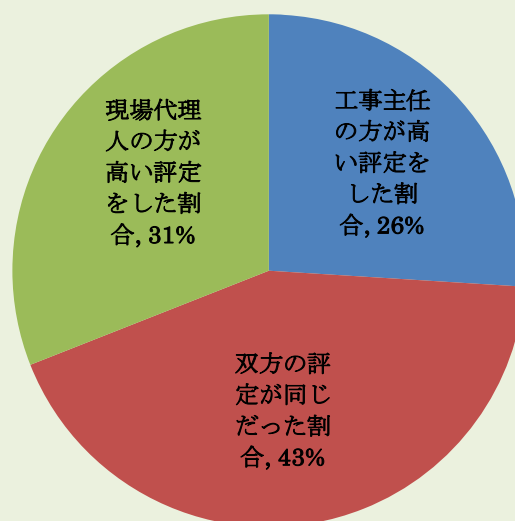
イ 土木工事、営繕工事の約30%の工事では、現場代理人の方が高い評定をしている。

ウ 特に創意工夫については、現場代理人の方が評価対象にならない事項についても評定していたことから、土木工事、営繕工事の約70%の工事で現場代理人が高い評定となっている。

【土木工事の場合】



【営繕工事の場合】



【土木工事】

	施工体制	配置技術者	施工管理	工程管理	安全管理	対外関係	出来形	品質	創意工夫	合計割合
工事主任の方が高い評定をした割合	25	24	26	26	14	26	15	9	6	19%
双方の評定が同じだった割合	44	48	53	52	49	47	49	68	27	49%
現場代理人の方が高い評定をした割合	31	28	21	22	37	27	36	23	67	32%

【営繕工事】

	施工体制	配置技術者	施工管理	工程管理	安全管理	対外関係	出来形	品質	創意工夫	合計割合
工事主任の方が高い評定をした割合	27	34	27	24	32	32	32	29	2	26%
双方の評定が同じだった割合	44	27	47	47	42	44	51	51	30	43%
現場代理人の方が高い評定をした割合	29	39	26	29	26	24	17	20	68	31%

(3) 工事主任の上司の考査項目⑧との比較

ア 土木工事の約61%、営繕工事の約45%の工事では、現場代理人と工事主任の上司の双方が同じ評定をしている。

イ 土木工事、営繕工事の約30%の工事では、現場代理人の方が高い評定をしている。

土木工事

	工事特性	社会性等	合計割合
上司の方が高い評定をした割合	13%	16%	15%
双方の評定が同じだった割合	66%	56%	61%
現場代理人の方が高い評定をした割合	21%	28%	24%

営繕工事

	工事特性	社会性等	合計割合
上司の方が高い評定をした割合	44%	2%	23%
双方の評定が同じだった割合	17%	73%	45%
現場代理人の方が高い評定をした割合	39%	25%	32%

6 まとめ

今回自己評価を実施した178件の工事の総合評定点の平均は、74.5点であり、平成24年度の全業種の工事総合評定点の平均73.8点を上回る結果となりました。

この結果から、施工体制や施工状況などの考査項目については、ほぼ理解されて評定されていると思われます。

これは、「請負工事成績採点表」、「施工プロセスのチェックリスト」、「札幌市請負工事検査の手引き」、「創意工夫の評価について」をホームページで公表しており、受注者が一定の理解を得て施工されているためと考えます。

しかしながら創意工夫につきましては、現場代理人と工事主任の評定に若干の乖離があったことから、改めてホームページに掲載している「**創意工夫の評価について**」をご覧ください、ご理解を深めていただければと思います。

最後になりますが、今回の受注者自己評価の実施にあたり、ご理解とご協力をいただきました受注者の皆様方に厚くお礼を申し上げます。